

ゆうかり放送委員会提供

ゆうかりに乾杯

第20回放送の概要 (2010年7月24日放送)

パーソナリティ

さくら (安本久美子)
タロウ (佃 由晃)
なかちゃん (中嶋邦弘)

コアラさんの地域瓦版

アコちゃん (三木文子)



ミキサー

門ちゃん (門田成延)
一ノ瀬 悟

相談役

わだかん (和田幹司)

会計

小山俊則

(CM)「え？有馬のごんそば知ってる？ほんと？神戸の奥座敷、有馬温泉にある本格手打ちそばの店、ごんそばで～す。お勧めは信州産石うすびき粉、ダットンソバで～す。有馬ごんそばよろしく。FMわいわい聞いた、1000円以上200円割引しま～す。今日は有馬ごんそばさまのご協力をいただきました。

1. オープニング

うだるような暑さが続いています。猛暑と酷暑の区別について気象庁HPの気象用語を調べると、一日の最高気温が25度以上のときは夏日、30度以上は真夏日、35度以上は猛暑日となっており酷暑については定義されておらず単に厳しい暑さという意味。今年6月の平均気温は平年より1.24度高かった。地球温暖化は大気中の二酸化炭素が増えるだけではないようだが我々に出来る防止策は車も含めてクーラーを出来るだけつけないことと思っている。室内熱中症も多いので水分補給をし体調維持に気をつけましょう。

(注：2006年以前はマスコミ等で酷暑日と表現されることが多かったが、2007年4月1日に行われた予報用語解説により正式に定義づけされた。)

2. ゲストコーナー：兵神機械工業(株)会長 友藤秀雄さん (36陽会)

高校入学は神戸二中で卒業時は兵庫高校一回生であった。同期生である36陽会は昭和23年に二中卒業生として145名、昭和24年に兵庫高校卒業生として156名となっている。入学した時は6クラスあり1～5組は新校舎の西側にある木造2階建てで自分たちの6組だけが新校舎であったため同級生と隔離された状態で他の5クラスに比べてもおとなしくバンカラではなかった。当時は戦時中で2年生になると祖母の住んでいる伊勢の関に疎開した。通学は自転車で駅まで出てJR参宮線、近鉄に乗り換え2時間近くの時間をかけて津中学に通っていた。近くの阿漕に陸軍地下工場があり勤労奉仕をしていた。仕事は切りくずの搬出といった単純作業であった。久居陸軍駐屯地があるため昭和20年7月に津に大空襲があり疎開先の校舎が焼失した。疎開先で自分の学校が焼失したのでとてもびっくりした。父親の工場は神戸に対する第1回目の1機による空襲で焼失していた。神戸に戻り4年に再編入した。5年生の時に軟式野球部を立ち上げた。監督、コーチなしで自分たちの学年だけの12～13人のメンバーであった。軟球ボールは余り飛ばないのでピッチャーとサードがうまければそこそこの成績を上げられた。ボールは大会のある時だけの配給制で公式試合はせいぜい2～3試合で敗退するので余った貴重なボールを闇市で売りその金で楽しんでた。

兵庫高校から姫路工業大学に行き、卒業後3ヶ月ほど勤めた会社をやめて父親の会社に入社した。当時は石炭から石油というエネルギー変換の時で炭鉱のポンプを扱っていたので仕事量が激減した。資金繰りに困り金のことは他人に任せられないということで息子である自分が担当になった。銀行に資金がないため手形が落とせず手形ジャンプを銀行業務終了後の夜にお願いして廻る仕事を約1年やっていた。昼間は勿論製造の仕事をしていた。専門外の仕事で最初は手形の裏書の意味も知らなかったが若いときにそのような仕事をしたことが資金の大切さ、人と人の繋がり大切さを学び後の仕事に大いに役立った。

船用ポンプに直接関係ある造船業界は景気の変動が極めて激しく大きな景気の谷は3回あった。昭和50年の第1次オイルショック、60年代の第2次オイルショック、そしてその後円高ウオン安により韓国が非常に安い船価になり、それに対抗するため日本の船価も安くなり納品する機器類の値段も30%程度下がった。景気は10年ほどで戻るが60%くらい戻ったところでまた景気が悪くなるのでずっと良くなかったという印象がある。そのような景気変動の激しい業界において会社は昨年80周年を迎え今年は81年目に入っている。このように頑張ってきた原因としては、船に関する海洋汚染防止の環境問題があり1954年に国際条約が批准され、日本で第1号となる油分離装置を開発し製品化したことが大きな柱になった。基準はIMO（国際海事機関）により毎年厳しくなり当初排出油100ppmの基準が現在は15ppmまで厳しくなった。このようなルール改正には会社として当初から参加している。タンカーでは油を運んだ後のバラストの海水を監視する装置についても国内の80%のシェアを持っている。このように公害（環境）関係に力を入れており船用だけでなく陸用では生コンから出る排水の処理装置なども出てきた。また兵庫県の知識融合化法の対象の第1号となる空き缶回収装置を開発製品化してきたことなど多くのことにチャレンジしてきたことが80年を超えて経営を続けてこれたことの要因と考えている。1985年に社長就任後不景気でリストラのため大変な苦労をした。後日従業員から聞いた話では或る朝現場に行くとき作業靴と通勤靴を片方ずつ履いている姿を見て悩んでいるのがよくわかったので従業員も協力してくれたようだ。

最近野菜作りを始めているがこれは弟である現社長の家内が会社の周りは休耕地が多いので活用したらどうかと言った事がきっかけである。素人では難しいが播磨町は農業従事者が多く従業員には豪農もおりそのような方々の手助けを得て取り組み始めた。メーカであるため農作物の販売ではなく水耕栽培の機械、システムを安価な価格で販売することを目指している。

3. ゆうかり大好きコアラさんの地域瓦版

神戸プラージュは神戸港新港第1突堤に人口の砂浜が出来、この夏限定で多くのイベントが開催されている。5つのエリアに別れプラージュエリアは3000平方メートルの砂浜があり昼間はビーチスポーツ夜は光のオブジェが幻想的に演出される。またガレージセールやビーチサッカーも行われている。シップエリアでは先週まで海王丸が停泊していた。瀬戸内フェリーの船内見学、船上ジャズライブが行われている。マリンスポーツエリアでは須磨ヨットクラブの協賛でセーリングを体験できる。イベントエリアでは来週からヘリコプターによる空中散歩体験（4分3000円）が楽しめる。ステージイベントではポップス、アカペラ、ジャズ、クラシックなどが海と人の共生をコンセプトに開催されている。（7月17日～8月31日）

4. 来週のゲスト

大阪教育大学の手取先生にお越しいただきます。

番組に対するご意見、ご感想はこちらまで：buyou49@nifmail.jp